

第4回日本伐木チャンピオンシップin鳥取 開催計画

- 1 目的 森林の整備・保全を推進するため、大会を通じて安全で正確な伐木技術を習得し、新たな林業の担い手育成を目指すとともに、競技形式でのスポーツ感あふれる高度な技を競い、林業の新しい魅力の発信、社会的認知度の向上、新規林業就業者数の拡大等を図る。

なお、今大会は令和8年3月にスロベニアで開催される第36回世界伐木チャンピオンシップに出場する日本代表選手の選出を兼ねた公認大会として実施する。

- 2 時期 令和7年10月18日（土）予選
10月19日（日）決勝

- 3 会場 鳥取砂丘オアシス広場（鳥取市福部町湯山2164-754）

- 4 主催 日本伐木チャンピオンシップin鳥取実行委員会

〔（公財）鳥取県林業担い手育成財団（事務局）、鳥取県森林組合連合会、日本伐木チャンピオンシップ実行委員会、
林業・木材製造業労働災害防止協会鳥取県支部、森林組合、鳥取県、市町村、（一社）林業技能教育研究所〕

5 内容

（1）競技内容

①競技部門・参加選手（全国から募集）

競技部門	参加選手
・プロフェッショナルクラス	60名
・ジュニアクラス（24歳未満）	10名
・レディースクラス	10名

②競技種目

- ・世界大会である世界伐木チャンピオンシップ（World Logging Championships）のルールにより、全5種目を競技とする。

（2）展示・販売ブースの設置

- ・林業・木材産業振興に向けた取組紹介、林業就業相談
- ・協力/協賛企業等の出展、飲食ブース

6 開催規模（目標）

来場者数 1,000人（参加選手80名）／2日間



- ①伐倒 : 標柱にできるだけ接近するよう、高さ12mの丸太を3分以内に伐倒する。
②丸太合わせ輪切り : 傾いた2本の丸太を垂直に上下から切り出し、30～80mmの厚さに輪切りする。
③接地丸太輪切り : 地面に接地している2本の丸太を地面に触れないよう上から垂直に30～80mmの厚さに切り出す。
④枝払い : 丸太に差し込まれた30本の枝を切り払う。
⑤ソーチェン着脱 : ソーチェンを外し、バーの上下を入れ替えて取り付け、別のソーチェンを装着する。